

地域女性活躍推進つながりサポート事業【鹿児島県始良市】

個別事業費	500 千円
交付金額	375 千円

地域の実情と課題

本市の総人口はゆるやかな増加傾向にある中で、若年女性の転出者数が多く、30歳前後の女性の転入者数が多いことから、進学や就職で市外に転出し、子育て環境を求めて市内に転入するケースが多いと推測される。労働力率については出産、子育てにより離職するケースが多い状況がうかがえる。

本市の「男女共同参画社会についての市民意識調査」の結果によると、働く場における性別による処遇の違いや固定的な性別役割分担意識が根強く残っており、女性の活躍推進のためには事業所への積極的な働きかけが必要である。

令和6年度以降5年間にわたる「第3次始良市男女共同参画基本計画(女性活躍推進計画と一体)」を策定し、誰もが個人としての能力が発揮できる就業環境の整備や、働く場における経営・方針決定過程への女性の参画拡大に取り組む。始良市女性活躍推進協議会においては、官民一体となり市内事業所や市民への普及啓発の取組を進めている。

事業の特徴

女性の活躍を促進する基盤づくりを総合的に進めるため、経済、健康、生活全般に不安や孤独を抱える女性に対し、社会との絆・つながりを回復することを目指す。①「困難や不安を抱える女性」に対する生活相談支援、②「困難や不安を抱える女性」に対する居場所の提供、③「困難や不安を抱える女性」に対する支援者養成を実施している。

潜在的なニーズを相談支援につなげるために、SNSを活用し事業についての情報発信を継続するとともに、地域の福祉イベントに女性相談のブースを設置し生理用品を提供した。居場所づくりについては、事業の一部をNPO法人等に再委託し、活動範囲の拡大及び多様な手法を用いた女性支援に取り組んだ。

事業の効果

居場所づくりの継続により、利用者間の関係性の構築がなされており、孤独の解消につながっている。子ども食堂との連携や地域での福祉イベントへの出向など、アウトリーチ型支援に取り組んだことにより潜在的な相談のニーズを発掘している。

居場所づくりと相談会を同時開催したことにより、R6年度(4名)→R7年度(9名)と、相談者数が増加した。

目的・目標

	目標・KPI	目標	実績	達成率
事業目標	相談者数	30人 (アウトプット)	9人 (R8.3)	30%
	居場所づくり利用者数	80人 (アウトプット)	49人 (R8.3)	61%
	研修受講者数	30人 (アウトプット)	56人 (R8.3)	187%
事業KPI	居場所づくりから相談につながった件数	10人 (アウトカム)	8人 (R8.3)	80%

研修受講者数は目標値を上回っており、アンケートでは「寄り添う支援のあり方について理解が深まった」との意見が多数あり、支援者の資質向上につながった。

連携団体

連携団体: 始良市社会福祉協議会(本事業委託先)、市女性活躍推進協議会(鹿児島労働局雇用均等室、始良市商工会、福祉施設勤務者(えるぼし認定)、自営業者、市社会福祉協議会、イオン始良店、あいらFM、JAあいら、始良市男女共同参画審議会会長(福祉施設職員)、始良市)

今後の課題

居場所づくりの利用者が固定化している傾向にある。子ども食堂との連携や地域イベントを活用したアウトリーチ型支援から居場所づくりへの参加につなげ、つながりが必要としている人に支援を広げたい。

社会とのつながりが希薄な女性の生活上の問題について、社会全体で取り組むべき問題として認識が必要である。地域の福祉イベントなどの機会を通じて地域社会に発信していく必要がある。

地域女性活躍推進つながりサポート事業 (委託先: 始良市社会福祉協議会)

① 「困難や不安を抱える女性」に対する生活相談支援

女性相談(毎月第1土曜日10:00~12:00、第3土曜日 13:00~15:00)
21回実施

市内在住で孤独・孤立により生活困難や不安を抱える女性に対し、生活相談支援を行った。相談内容は夫婦関係などの家庭の問題、生活困窮、将来への不安などが主となっている。相談内容に応じて行政の諸制度の案内、法律相談の紹介、社会福祉協議会の生活困窮者自立支援事業に引き継いだ。

② 「困難や不安を抱える女性」に対する居場所の提供

(毎月第3土曜日 13:30~15:30) 12回実施

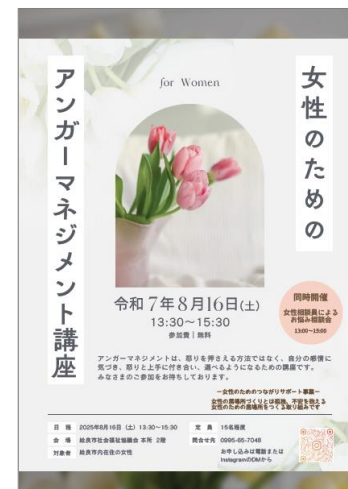
従来の茶話会に加え、歌声喫茶、メイクアップ講座、多肉植物の寄せ植え教室、ヨガ教室、アンガーマネジメント講座など体験型の講座を実施し、参加者の交流を促す。参加者は、相談窓口に来られた方のほか、社会福祉協議会のSNSを見て来られた。

③ 「困難や不安を抱える女性」に対する支援者養成

(11月10日、11月26日、12月3日、12月16日)

女性相談員、民生委員、市職員などの相談支援を受ける人が、女性を取り巻く現状を知り、性別に起因する生きづらさや困難に寄り添い相談を受けることができるよう研修を実施した。内容は「相談支援につながる対話」などコミュニケーションに関するもの、「親の孤立の問題」など困難な問題を抱える女性の背景に着眼したものを実施した。

②居場所の提供



③支援者養成研修

